

「教育現場における防災学習を支援」

～水防災河川学習プログラムの配布式を行いました～

1. 経緯／概要

- 最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会では、教育機関等と連携し**最上川の水害を伝承**するとともに、**地域防災力の核となる人材を育成**していくことを目的に、水防災に関する知識の普及に取り組んでいます。
- **平成30年2月に「防災教育検討会」を設立し、山形市立大郷小学校を支援校として防災教育に取り組み**、計2回の公開授業(社会1回、理科1回)、計3回の検討会を経て、平成31年3月に**「水防災河川学習プログラム」が完成し**、管内の小学校への配布に先駆けて**山形市教育委員会との「配布式」**を行いました。

【配布式】

【日 時】平成31年4月22日(月)10時～

【場 所】山形市役所 8F 教育長室

水防災河川学習プログラム配布式 次 第

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 山形河川国道事務所長挨拶
4. 配布(山形河川国道事務所長から教育長へ)
5. 教育長挨拶
6. 記念撮影
7. 懇談
8. 閉会



【平成30年9月13日
公開授業(理科)】



【平成30年11月19日
第3回検討会】

○ 荒澤教育長のコメント
 ・各校で活用して水害に対する正しい認識を育んでいきたい。
 ・プログラムを学ぶということは、地域防災の担い手を育てること。各校にしっかりと活用させていきたい。

2. 配布式の様子

各小学校等への配布に先駆け、山形河川国道事務所長より、山形市教育長へ「水防災河川学習プログラム」が配布されました。



開 会



山形河川国道事務所長より山形市教育長へ
学習プログラムを配布



出席者による記念撮影